

高崎市文化財調査報告書第185集

高崎市内遺跡埋蔵文化財

緊急発掘調査報告書17

2003

高崎市教育委員会

序

高崎市は古くから関東と信越を結ぶ交通の拠点として栄えてまいりました。現在は新幹線、高速道路が整備され「人、もの、情報、文化の交流拠点都市たかさき」として、高崎都市圏の「中核都市」として着実に発展を続けております。

21世紀を迎え、一層の文化的、創造的な都市を目指して躍進しています。高崎市には国指定史跡日高遺跡、国指定史跡浅間山・大鶴巻・観音山・観音塚古墳があり、国特別史跡山ノ上碑・金井沢碑等、市民の共有財産である文化財が市内の至る所に残っております。

しかし、都市基盤整備推進の中で多くの埋蔵文化財が破壊と消滅の危機に瀕していることも事実です。

本書は、土木工事等に伴い実施した埋蔵文化財の範囲確認のための試掘調査の結果報告書です。

埋蔵文化財は、本市の歴史・文化の環境を形づくる重要な要素として、地域づくりに大きく寄与するものであります。そのため試掘調査の結果、遺跡が確認されたものについては、できるだけ限りの記録を後世に残すべく努力しております。

最後になりましたが、試掘調査に多大な協力を賜った関係機関、各位に厚くお礼申し上げますとともに、発掘及び整理作業に携わった方々に感謝の意を表し、序といたします。

平成15年3月

高崎市教育委員会
教育長 砂田威夫

例 言

1. 本書は平成14年度事業の市内試掘調査の結果報告書である。
2. 事務局：結城千尋 斉藤寛方 片平映里
3. 調査担当：神戸 肇 丸山 徹
4. 報告書の作成と整理は担当者と担当者の指示のもと武井幸子、山口敦子、小林光子、丸山徹がおこなった。
5. 試掘調査地での写真撮影は神戸と丸山が行い、報告書の遺物撮影は中村貢がおこなった。
7. 記録、出土遺物は市教育委員会で保管している。

凡 例

1. 頁上、遺跡名に付いている数字は一覧表Noに対応する。
2. 図中のレベルは調査地、調査地付近の任意の位置を0mとした。
3. 文中のB、浅間B、B軽石は平安時代。FAは古墳時代前期、FPは古墳時代中期の榛名山二ツ岳噴出のテフラを言う。C、浅間C、C軽石は4世紀代に浅間山から噴出したテフラである。
4. 文中あるいはセクション図内の泥流は前橋、井野川、白川等、幾つかの名称で呼ばれている。
本書は固有名詞まで言及しない。
5. 位置図は高崎市発行1/2500地形図を原図とし縮小あるいは拡大して利用した。
6. 本書の中で紙面の都合上、遺物説明が足りなかったり、していないものもある。

目 次

序

例言

凡例

平成14年度高崎市市内試掘調査一覧表	1～2
平成14年度試掘調査位置図	3 調査内容
28. 八幡原若宮	
概説	4
調査地全体図	5
住居跡 (SH1, SH2)	6～9
SH4と墳丘2	10
中世一欄列	16
近世一石列	16
2. 間屋町	21～22
4. 浜川長町	23
10. 上中居荒神	23
11. 上中居岡久保	23
33. 萩原八幡坪	23
34. 上中居字名室	24
43. 反葉町	25
47. 下佐野長者屋敷	25
57. 山名田中地	26

平成14年度 市内試掘調査一覧表

No	所在地	開発内容	開発面積 (㎡)	調査内容	備考
1	下佐野町一本木740-1	子育て支援センター建築	1,264.00	B水田可能性あり。B水田土壌以下は泥流シルト。	
2	末広町124-2ほか	総合福祉センター建設	15,748.00	遺構、遺物なし。全部埋没。洪水土層上の低湿地。	
3	上佐野町山王前1184-1	アパート建築	509.00	遺構、遺物なし。河川堆積土層。	
4	浜川町長町386-3	店舗建設	1,034.00	B水田、畦検出。B水田より下層は泥流土層。	23
5	上佐野町諏訪前337-4	住宅分譲	722.94	B下土層で流れ込み土層出土。自然地形上の溝検出。	
6	高岡町村西125ほか	土地分譲地開発	5,810.00	盛土、砂質含む黒色シルト土層。遺構確認されず。	立会
7	剣崎町長湯1228	市道築造工事	約700.00	古墳時代の住居跡検出。覆土から土器、遺物等出土。	
8	本部町岡ノH541-1	砂利採取	3,892.00	シルト、礫、川砂層。遺物・遺構なし。	立会
9	中居町四丁目17-8ほか	共同住宅の建築	600.09	遺構・遺物なし。前建築物基礎あり。黒色土なし。	
10	上中居町寛神317-1	共同住宅の建築	663.48	B軽石層あり。B下畦検出。保存される。遺物なし。	23
11	上中居町同久保1436-2ほか	共同住宅及び食堂	2,060.00	B水田、人・動物足跡検出。遺物なし。下層はなし。	23
12	石原町橋辺3610-1ほか	共同住宅	1,305.00	遺物・遺構なし。丘陵部平地。	
13	菊池町薬師前436-2	事務所建て替え	854.43	小河川または沢地の堆積土層。遺物・遺構なし。	
14	剣崎町長湯1361-1	通信用鉄塔新設工事	212.15	1.7m掘削。遺構なし。	立会
	倉賀野町甲下正六491-8ほか	河川護岸工事		遺物・遺構なし。段丘地形内の堆積土層。	立会
16	鶴見町52-6ほか	ビジネスホテル、マンション新築	2,349.61	遺物なし。遺構確認できず。	
17	緑町四丁目5-12	土地売買	2,096.00	遺物なし。遺構なし。低地ないし沼地形。	
18	江木町屋敷池465-7ほか	木造家屋の建替	710.90	B水田可能性あり。遺物なし。下層は遺構ならず。	
19	緑町一丁目29-3	土地売買	2,096.00	遺構なし。B軽石は部分的埋積。湿地的地形。	
20	新保町熊野41ほか	共同住宅の建築	1,259.87	泥流及び洪水堆積土層。遺構、遺物一切なし。	
21	和田町20-3	賃貸マンション	282.53	遺構・遺物なし。泥流土層に埋土土層。	
22	宿大瀬町一丁目921ほか	診療所併用住宅新築工事	381.52	段丘地形。一部B軽石あり。過去は塙整備実施。	立会
23	矢中町瀬ノ内651-1ほか	ドライブイン	2,130.00	約150cm埋土。下層は洪水泥流層。遺構なし。	
24	栗崎町原536-2ほか	診療所の開設	5,642.21	泥流土層。段丘。遺構、遺物なし。	立会
25	飯塚町西金井414-1		999.69	B純層あり。畦検出されない。水田土壌。保存される。	
26	西横手町カサ391-19ほか	共同住宅新築	1,115.54	遺構なし。2.6cm掘る。泥流上面に水性堆積土層。	
27	倉賀野町寛神2201-2ほか	分譲住宅	2,419.24	B純層でない。泥流・洪水堆積土層。遺構なし。	
28	八幡原町2014-1ほか	事務所新築	3,876.70	削平された古墳の可能性。円筒埴輪、S字埴片出土。	11
29	貝沢町間屋町東722ほか	駅前広場新設 アクセス道路改良	3,713.94	調査地の北側にB軽石層あり。部分的である。	
30	本部町大溝75-1ほか	砂利採取	13,256.00	遺構なし。	立会
31	新保町53街区106-1ほか	共同住宅新築	16,026.00	B下畦検出。B水田以下は遺構なし。保存される。	
32	和田多中町232-1	道路の築造	118.00	B水田確認できず。下層に遺構なし。	
33	萩原町八幡坪408-1ほか	都市計画道路宿根 手大沢橋道路建設	929.00	南北トレンチ共F A下水田の畦検出。北に大畦。	23
34	上中居町名室1187-1	宅地分譲	1,190.00	古墳時代の土坑、中世自然溝を検出。土師片出土。	24
35	飯塚町高内1518-1ほか	道路位置指定による 宅地分譲	806.00	B下黒粘一部あり。A軽石処理地あり。攪乱。	
36	H高町西350-2	下水道建設	51.50	C軽石の堆積を確認。B軽石層あり。水田可能性。	立会

37	上中居町西原敷150-3	土地分譲	1,093.00	B下粘質土は洗われている。遺物、遺構なし。	
38	栄町9-3	事務所及び共同住宅の建設	418.25	B水田可能性。上下層遺構なし。	
39	貝沢町久保田206-1ほか	ディケアセンター併設共同住宅	1,892.24	砂質、礫層まで掘削。遺構なし。河川の土地。	
40	鉾崎町東村965-1ほか	土地分譲用地	1,470.13	3か所掘削。遺物・遺構なし。	
41	下之城町北302-1	貸事務所用地	600.00	B軽石層一部分あり。乱れ。遺構、遺物なし。	
42	小八木町宮東1716-1ほか	店舗建設	1,025.00	Bはほとんど覆拌。B下水田可能性があるが、低い。	
43	反葉町70-1	宅地分譲	1,100.00	B軽石層あり。B下水田。下層は遺構なし。	25
44	倉賀野町八幡前1499-2	宅地分譲	532.41	沢地形の混土堆積層。遺構なし。	
45	上池町673	送電用鉄塔新設	196.12	B水田、F A水田の可能性あり。遺物なし。	
46	貝沢町前沖1028-1	貸共同住宅建築	861.80	B下水田の可能性あり。他の土層では遺構なし。	
47	下佐野町長者屋敷979-1ほか	共同住宅建設	1,339.00	遺構確認されず。流れ込み縄文、土師、須恵片出土。	25
48	中尾町大日高807-1ほか	診療所建設	2,400.00	遺物、遺構なし。低地と考えられる。混土、砂質土。	
49	浜川町矢島255-2	専用住宅・木造二階建て(在来工法)	264.77	砂質、灰泥シルト、泥流土層。遺構、遺物なし。	
50	倉賀野町八幡前1575-11	宅地分譲	674.00	傾斜地形ないし沢状地形。砂質主体土層。遺構なし。	
51	高松町14-2	学校建設	1,064.38	近代の土層あり。遺構は確認できず。遺物出土。	
52	倉賀野町下越越1819	共同住宅建設	2,722.89	146cm掘削。陶磁器片出土。遺構なし。	
53	上中居町島薬師522	宅地分譲	793.00	一部分にB純層あり。土師、磁器片出土。遺構なし。	
54	下之城町北182-1ほか	店舗新築	2,756.00	泥流土層の上層すべて埋土。遺物、遺構なし。	
55	日高町1384-21ほか(蔵本所)	分譲住宅	330.00	中世堀。保存される。遺物なし。	
56	柴崎町砂内40	露天駐車場	3,141.00	B水田の可能性少ない。流れ込み土器数点出土。	
57	山名町田中地503-1ほか	ディサービスセンター建設	1,546.00	古墳時代の礫石。埴輪、須恵、土師片出土。	26
58	上中居町込薬師1650-1ほか	共同住宅建設	1,710.63	遺構のある可能性少ない。	立会
59	東貝沢町1-6-10	3F建マンション建設	677.05	河川堆積土。埋土、砂質土。遺構なし。	
60	上並坂町下松61	道路位置指定	992.60	B水田あり。F A洪水下水田可能性あり。遺物なし。	
61	下中居町宅地前232-5	共同住宅建設	1,050.55	乱れたB軽石層あり。自然の溝あり。遺構なし。	
62	下滝町境内26-1	道路改良工事	150.00	古墳の一部分確認。古墳下遺構あり。土器出土。	
63	石原町直田3268-1ほか	土地分譲地	2,156.00	ゆるい凹地形。遺物なし。遺構なし。	
64	下之城町村前729ほか	共同住宅新築工事	470.52	B水田土壌と考えられる。それより下層は泥流土層。	
65	下佐野町702-1	マンション建設	1,223.26	遺構確認されず。遺物、金面の混土層より出土。	
66	島野町大岩1038-1ほか	診療所新築	1,469.37	B水田、畦、溝4条検出。土器片出土。他遺構なし。	
67	矢中町東村680-1	診療所併用住宅新築	1,533.47	泥流土層に盛土あるいは粘質土層。遺物、遺構なし。	
68	上中居町西原敷167-2	マンション建設	593.50	B軽石確認。B下水田検出。土器片出土。	
69	下中居町宅地添399-21ほか	長屋住居新築工事	394.25	奈良〜平安朝の土坑検出。遺物あり。	
70	上中居町岡久保1425-11ほか	共同住宅用地造成	2,118.00	B水田、畦2条検出。F A洪水下水田、畦検出。	
71	矢中町下村北627-11ほか	歩行者用道路設置	90.00	時期不詳の土坑1基検出。表掘土器1点。	
72	上豊岡町上後原1166ほか	老人福祉施設新築	2,313.00	古墳、奈良〜平安朝の住居5軒、土坑、柱穴検出。	
73	飯塚町雁田747-11ほか	分譲住宅用地の造成	2,041.00	B水田検出。F A洪水下水田検出。	
74	上並坂町下松25	貸店舗用地	2,794.16	B水田、畦検出、F A洪水下水田、畦検出。	

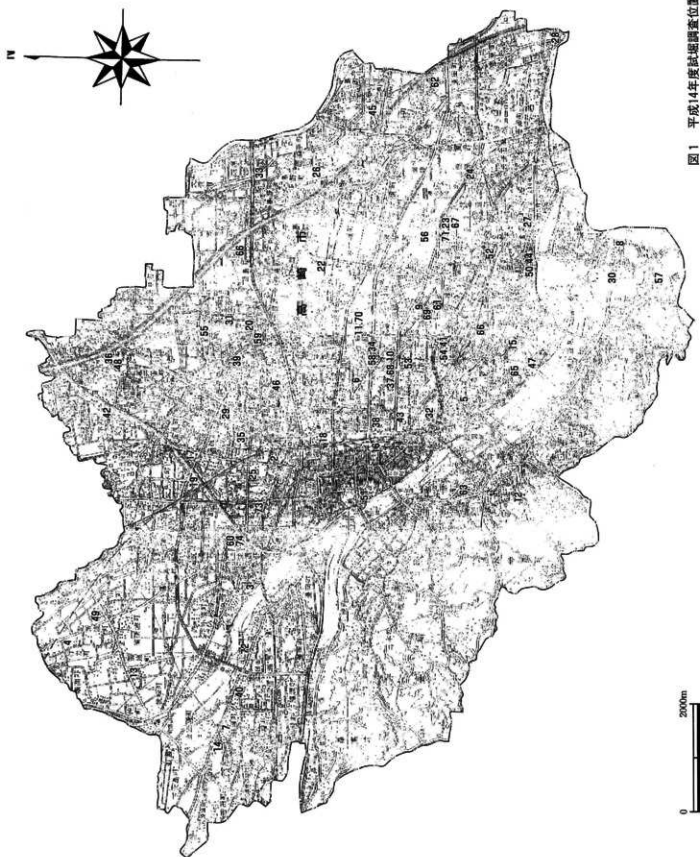


図1 平成14年度試観調査位置図

28. 八幡原若宮

- (1) 所在地 八幡原町字若宮2014-1 他
- (2) 調査期間 平成14年8月6日
平成14年8月20日～9月5日
- (3) 対象面積 3,876.70 m²
- (4) 開発内容 事務所新築
- (5) 経過と結果

通常の申請書の試掘調査依頼書を通じて平成14年8月6日にトレンチによる試掘調査を実施した。

掘削は幅1.4m、長さ9.5mの南北に長いトレンチを西トレンチとし、幅1.4m、長さ7mを東トレンチとした。東トレンチは全て攪乱されていた。西トレンチの掘削では西側に弧を描く傾斜したロームが現れ墳丘を思わせた。土層内には円筒式埴輪、S字毫の破片が出土した。これらの状況からさらに詳しい遺構確認の必要性があったので、協議によって日を改め、調査を実施することになった。

【立地及び環境】

八幡原町は高崎市でも東部の地域になる。地域内には県管理の“群馬の森”があり公園内には県立歴史博物館、県立近代美術博物館等がある。当調査地は烏川と南流してきた井野川の合流点の烏川左岸にある。同じ左岸側の0.5km範囲には古墳や遺構が連続と続き、東隣りの行政地域までつながり、広がりのある遺跡の密集地である。標高約71.6mの位置にあり、調査地の東、約0.2kmには高速道路・関越道が走っている。当調査地から0.5km範囲での北西で一番遠いところに若宮八幡北古墳がある。舟形石棺をもつ5世紀後半の帆立貝式で短小の造り出し部があるのが特徴で、後円部は2段築成で人物、形象埴輪の出土状況が分かる貴重な古墳である。副葬品に文殊鏡、太刀、管玉、小玉、鉄鏃等が出土している。当調査地と若宮八幡北古墳のおよそ中間に若宮A号墳があり、直径は約13mの小円墳で、築造時期は6世紀末ないし7世紀初頭とされる。石室内から直刀、小刀、刀子、鉄鏃、耳環、ガラス玉が出土したとされる。また一方、調査地東の0.5km範囲の隣り町の行政に入る玉村町では、5世紀初頭とされる下郷14号墳の前方後円墳がある。

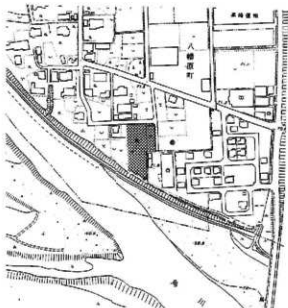


図2 位置図

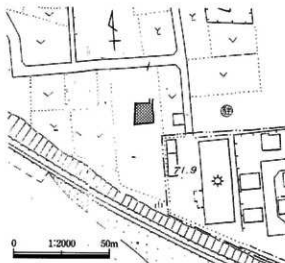


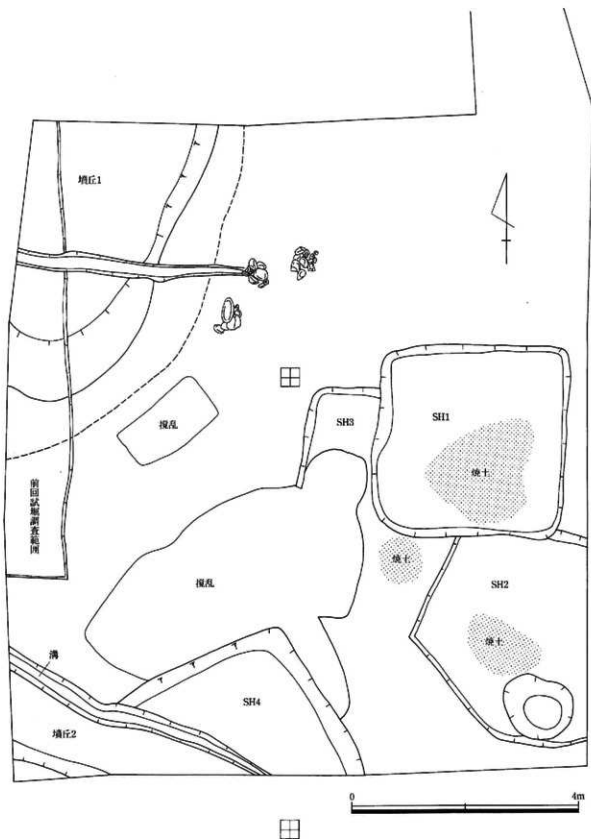
図3 トレンチ位置図

推定全長90mとされ、周溝内に円筒埴輪、底部穿孔壺型土器等が出土している。

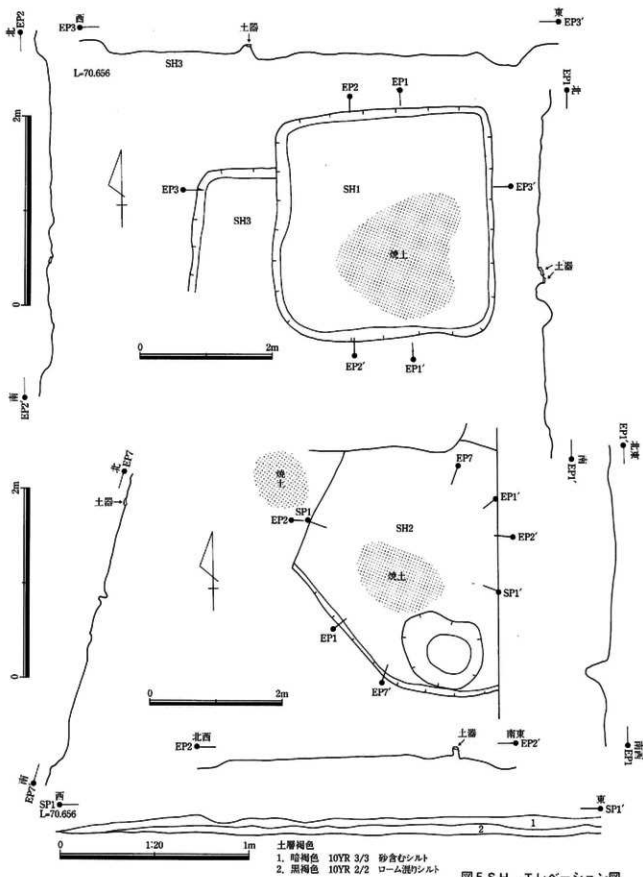
また同じ地内に若宮古墳群とした群集墳があり17基を調査している。多くの埴輪・遺物が出土している。

今回のトレンチ調査地と若宮古墳群の地区は高速道路・関越自動車道の建設とそれに伴い圃場整備が実施された。現況は畑地に盛土され、更地にされて会社の資材置き場と駐車場になっている。

【調査結果】調査トレンチの大きさは南北11.6m、東西10mで116m²である。前回のトレンチを参考に掘削をおこなった。遺構確認の直上面で掘削機で掘削しながらジョレン、移植ゴテを使い遺構確認の作業をした。現地表面から遺構確認までの深さは約70cmである。トレンチ内は攪乱部分が多く完全なる遺構の検出は一つもなかった。



住居跡 (SH1、SH2)



SH2 貯蔵穴

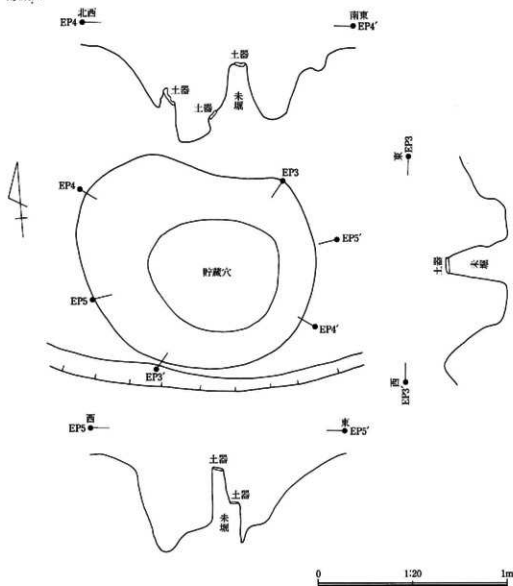


図6 SH2貯蔵穴エレベーション図

が遺構であることは確認はできた。以上の作業成果は古墳時代前期の住居跡4軒、古墳時代中期古墳1基、古墳時代後期1基、古墳時代前期溝、中世棚列跡、近世石列を確認した。

〔住居〕SH-1：SH-2とSH-3を切っている。ルームを掘り込んでいる。住居の床面近くまで削平されている。床面は固く締まって平らである。住居の大きさ3.4m×3.4m。住居の中心から南東にかけて床面に焼土が残っていた。燃焼施設は確認されない。遺物は床面ないし床面覆土内から出土している。遺物は甕と壺がほとんどである。時期は出土遺物の特徴から古墳時代前期とした。SH-1内の他の場所で出土した土器片も同じ時期の特徴をもっている。SH-2：SH-3を切っている。またSH-1に切られている。遺構の残りは悪く、床面近くまで削平され、住居跡の輪郭だけを残したものであった。住居跡の大きさは、測れるところでおよその長さは3～3.8mあるが、SH-1と同じくらいの大きさの住居が考えられる。トレンチ東壁側にSH-2の貯蔵穴と考えられる土坑1基を検出した。土坑の大きさは90×60cm、深さ約50cmである。住居中心部から少し南側の床面に焼土がある。床面は固く締まって平らである。出土遺物は床面、貯蔵穴中の覆土内、貯蔵穴の周りから出土した。ここでも壺型が多く出土している。時期は出土遺物の特徴から古墳時代前期とした。SH-1も前期だが

SH1 土器出土地点

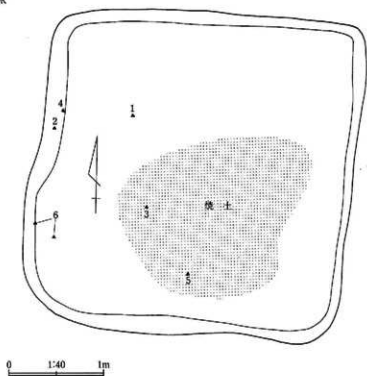


图7 遺物出土平面图

SH1 出土土器

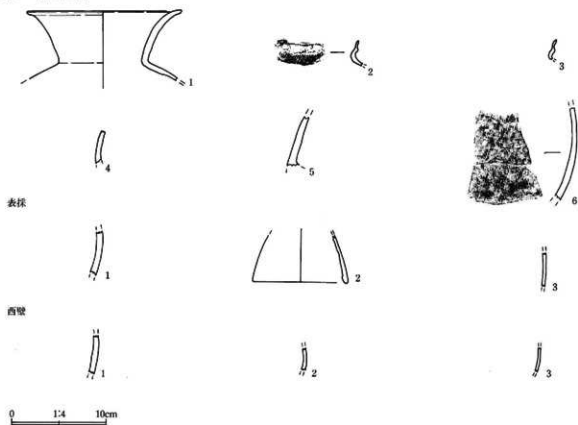


图8 土器実測図

SH2 土器出土地点

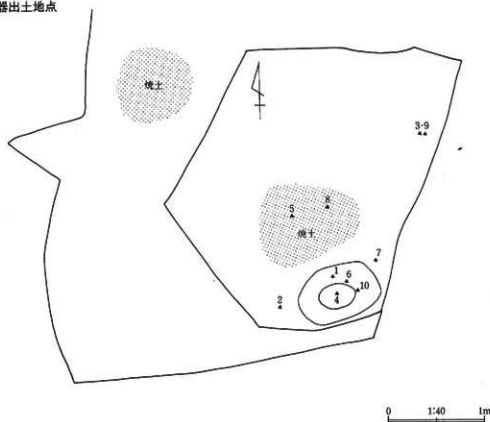


图9 遺物出土平面图

SH2 出土土器

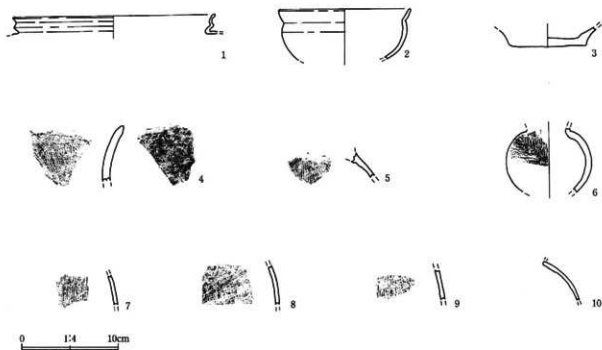


图10 土器実測図

SH4と墳丘2

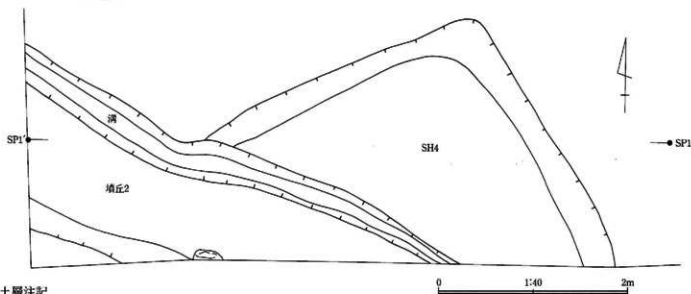


図11 SH4平面図

土層記

- 1 暗褐色 10YR 3/3 粗粒
- 2 暗褐色 10YR 3/3 粗粒
- 3 黒色 10YR 2/3 砂混るシルト
- 4 " " " "
- 5 " " " "
- 6 黒褐色 10YR 3/2 砂混るシルト わずかに粘り
- 7 " 10YR 2/3 砂混るシルト
- 8 " 10YR 2/2 砂混るシルト
- 9 " 10YR 3/2 粗粒、ローム粒混る
- 10 暗褐色 10YR 3/3 砂混るシルト
- 11 " 10YR 3/3 砂少し混るシルト ローム粒混る

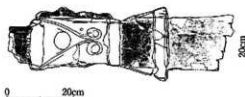


図12 靱型埴輪

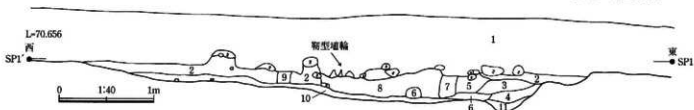


図13 土層図

出土遺物からSH-2の方が古いようである。SH-3:SH-1とSH-2に切られている。この遺構についても激しい削平がおこなわれていて、北西と北の部分の輪郭を残すのみであった。重複している3軒の住居の中で最も状態の悪いものである。SH-2の外側、北西の位置に焼土が残っているがSH-3に関連するものと考えている。床面は固く締まっていて平らである。焼土部分がSH-3に含まれた住居とすると一辺が3.4mぐらいの長さの住居が考えられる。遺物は床面の覆土内から出土した。数個の遺物だけであるが古墳前期の特徴の土器である。この住居跡も古墳時代前期と考えたい。SH-4:墳丘2の下から検出した。部分的なので規模は分からない。住居の深さはロームを掘り込んでいて、ローム上面から32cmである。床面は平らになっていて張り床されているようだ。時期は覆土からの出土遺物から古墳時代前期とした。

古墳時代前期の溝：墳丘2の裾に沿った形で検出された。上幅25~39cm、下幅9~15cmで北西から南東へ低くなっていく。溝覆土内から土器片が出土している。出土土器から前期としたが墳丘2の溝とも考えられる。

墳丘1：トレンチ北西の位置にある。墳丘の形状はおよそ南北に長い楕円である。墳丘は削平されていた。葺石と考えられる石が溝内から出ている。溝内、ないし溝近くから出土した石の大きさを現場計測したものを実測

墳丘1 平面図・セクション図

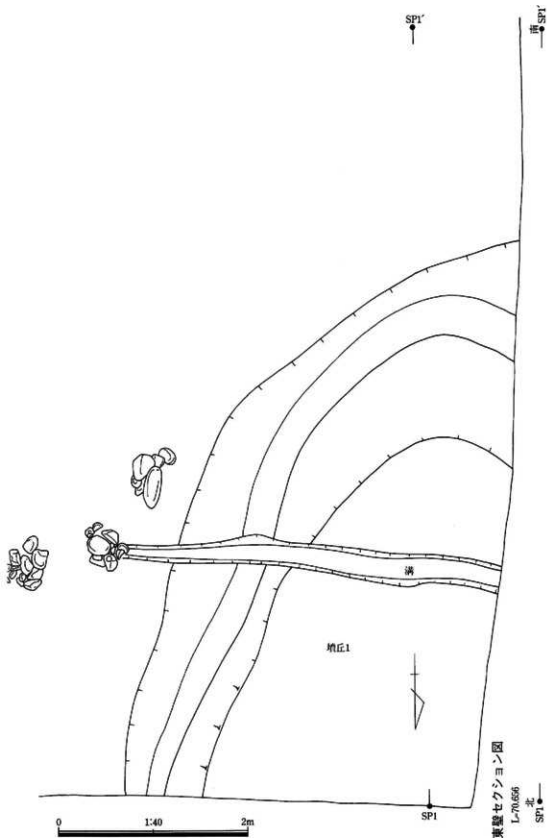


圖14 平面圖

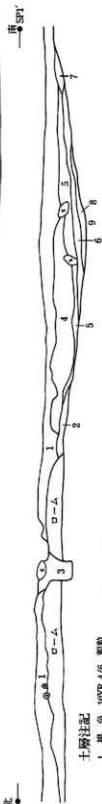
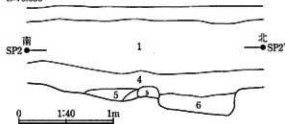


图15 土层图

土質注記	掘削	上部シルト混り
1 褐色	10YR 4/6	下層ローム
2	10YR 4/4	川砂ローム
3	10YR 2/3	砂(粗粒)混り
4 黒褐色	10YR 4/3	泥炭混り
5 黒褐色	10YR 4/6	砂混り
6 褐色	10YR 4/4	砂混り
7	—	—
8 泥炭	2	—
9	—	—

墳丘2溝

L-70.656



墳丘2西壁土層注記

土層注記

- 1 褐色 10YR 4/4 現体粘土 4層に分層される
- 4 黒褐色 10YR 2/3 砂混る シルト質
- 5 褐色 10YR 4/4 泥流土層、ややしまる。上面 川砂混る
- 6 暗褐色 10YR 3/4 川砂含む しまっている

図16 西壁土層図

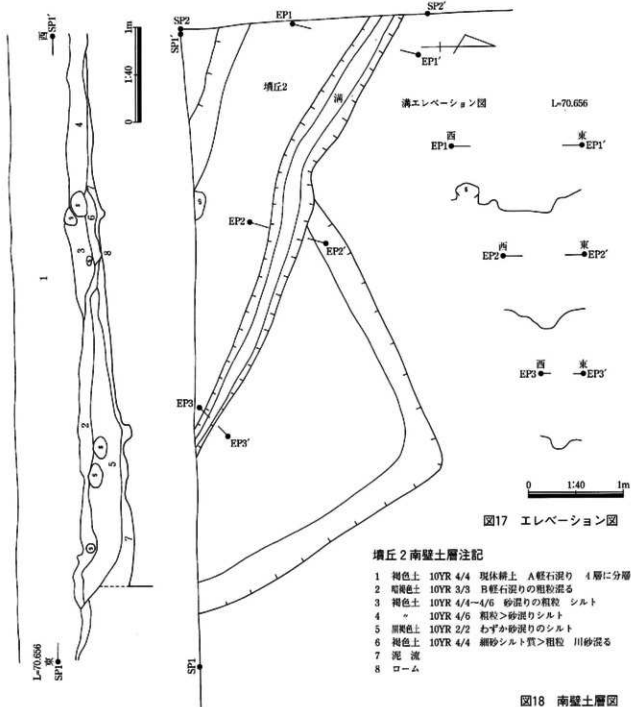


図17 エレベーション図

墳丘2南壁土層注記

- 1 褐色土 10YR 4/4 現体粘土 A 軽石混り 4層に分層
- 2 暗褐色土 10YR 3/3 B 軽石混りの粗砂混る
- 3 褐色土 10YR 4/4-4/6 砂混りの粗粒 シルト
- 4 ~ 10YR 4/5 粗粒>砂混りシルト
- 5 暗褐色土 10YR 2/2 わずか砂混りのシルト
- 6 褐色土 10YR 4/4 細砂シルト質>粗粒 川砂混る
- 7 泥流
- 8 ローム

図18 南壁土層図

墳丘1一溝内出土土器

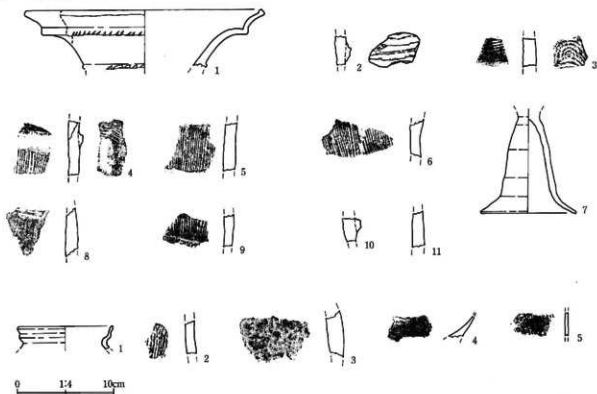


図19 出土遺物実測図

覆土内

H14-28 八幡原若宮 葺石実測表 (cm)

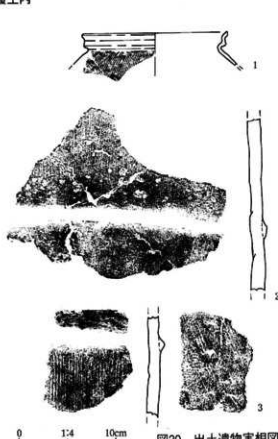


図20 出土遺物実測図

墳丘1				墳丘2			
取 出 位置	形状・寸法	取 出 位置	形状・寸法	取 出 位置	形状・寸法	取 出 位置	形状・寸法
1	130 124 8	1	201 28 13	44	254 201 133	47	121 114 43
2	133 119 7	2	161 13 10	45	166 177 6	48	169 127 75
3	133 119 6	3	211 19 10	46	169 139 73	49	254 111 11
4	141 145 11	4	175 15 14	47	202 16 5	50	161 117 7 5
5	161 132 12	5	274 10 12	48	254 201 133	51	133 127 43
6	171 141 11	6	206 17 12	49	164 111 13	52	171 114 43
7	161 132 12	7	206 17 12	50	132 111 6	53	161 117 7
8	161 132 12	8	206 17 12	51	166 177 6	54	169 127 75
9	161 132 12	9	206 17 12	52	166 177 6	55	169 127 75
10	161 132 12	10	206 17 12	53	166 177 6	56	169 127 75
11	161 132 12	11	206 17 12	54	166 177 6	57	169 127 75
12	161 132 12	12	206 17 12	55	166 177 6	58	169 127 75
13	161 132 12	13	206 17 12	56	166 177 6	59	169 127 75
14	161 132 12	14	206 17 12	57	166 177 6	60	169 127 75
15	161 132 12	15	206 17 12	58	166 177 6	61	169 127 75
16	161 132 12	16	206 17 12	59	166 177 6	62	169 127 75
17	161 132 12	17	206 17 12	60	166 177 6	63	169 127 75
18	161 132 12	18	206 17 12	61	166 177 6	64	169 127 75
19	161 132 12	19	206 17 12	62	166 177 6	65	169 127 75
20	161 132 12	20	206 17 12	63	166 177 6	66	169 127 75
21	161 132 12	21	206 17 12	64	166 177 6	67	169 127 75
22	161 132 12	22	206 17 12	65	166 177 6	68	169 127 75
23	161 132 12	23	206 17 12	66	166 177 6	69	169 127 75
24	161 132 12	24	206 17 12	67	166 177 6	70	169 127 75
25	161 132 12	25	206 17 12	68	166 177 6	71	169 127 75
26	161 132 12	26	206 17 12	69	166 177 6	72	169 127 75
27	161 132 12	27	206 17 12	70	166 177 6	73	169 127 75
28	161 132 12	28	206 17 12	71	166 177 6	74	169 127 75
29	161 132 12	29	206 17 12	72	166 177 6	75	169 127 75
30	161 132 12	30	206 17 12	73	166 177 6	76	169 127 75
31	161 132 12	31	206 17 12	74	166 177 6	77	169 127 75
32	161 132 12	32	206 17 12	75	166 177 6	78	169 127 75
33	161 132 12	33	206 17 12	76	166 177 6	79	169 127 75
34	161 132 12	34	206 17 12	77	166 177 6	80	169 127 75
35	161 132 12	35	206 17 12	78	166 177 6	81	169 127 75
36	161 132 12	36	206 17 12	79	166 177 6	82	169 127 75
37	161 132 12	37	206 17 12	80	166 177 6	83	169 127 75
38	161 132 12	38	206 17 12	81	166 177 6	84	169 127 75
39	161 132 12	39	206 17 12	82	166 177 6	85	169 127 75
40	161 132 12	40	206 17 12	83	166 177 6	86	169 127 75
41	161 132 12	41	206 17 12	84	166 177 6	87	169 127 75
42	161 132 12	42	206 17 12	85	166 177 6	88	169 127 75
43	161 132 12	43	206 17 12	86	166 177 6	89	169 127 75
44	161 132 12	44	206 17 12	87	166 177 6	90	169 127 75
45	161 132 12	45	206 17 12	88	166 177 6	91	169 127 75
46	161 132 12	46	206 17 12	89	166 177 6	92	169 127 75
47	161 132 12	47	206 17 12	90	166 177 6	93	169 127 75
48	161 132 12	48	206 17 12	91	166 177 6	94	169 127 75
49	161 132 12	49	206 17 12	92	166 177 6	95	169 127 75
50	161 132 12	50	206 17 12	93	166 177 6	96	169 127 75
51	161 132 12	51	206 17 12	94	166 177 6	97	169 127 75
52	161 132 12	52	206 17 12	95	166 177 6	98	169 127 75
53	161 132 12	53	206 17 12	96	166 177 6	99	169 127 75
54	161 132 12	54	206 17 12	97	166 177 6	98	169 127 75
55	161 132 12	55	206 17 12	99	166 177 6	99	169 127 75

SDI~SDI'から出土した靱型埴輪

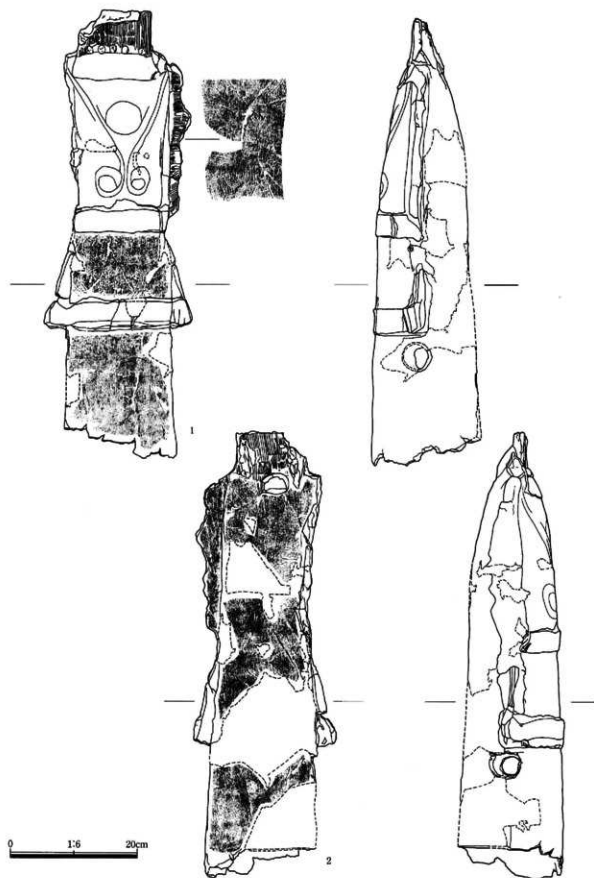


図21 出土遺物実測図

出土遺物観察表

種別	器種	位置	出土	形状	色調	特徴	備考
SH1	土師器	口縁 (16.3)	やや粗、縞状	良好	黒	口縁外反し、胴部丸みを帯び、口縁コナナデ、胴部外面へうミガキ、内面ナデ。	1/3残り
	土師器	5字型	縞状含む	やや不良	灰黒	口縁の底縁ゆがみ、胴部外面ナメハケ、内面ユビナデ。	小片
	土師器	5字型	縞状含む	良好	灰黒	口縁の底縁ゆがみ、口縁部うすい。	小片
	土師器	5字型	縞状含む	良好	灰	口の口縁部、ゆるやかに外反し、底縁は平直、内外面へうミガキ。	小片
	土師器	5字型	縞状、縞砂含む	良好	灰	口の口縁部、口縁外縁する。外面ハケ後へうミガキ、内面へうミガキ。	小片
	土師器	5字型	縞状含む	良好	灰	口の口縁部、外面ハケ後ナデナメハケへうミガキ、内面ハケ後ナデ調。	小片
表 座	土師器	5字型	縞状、小縞含む	やや不良	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
	土師器	5字型	縞状含む	やや不良	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
	土師器	5字型	縞、縞砂少量含む	良好	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
西 壁	土師器	5字型	縞、縞砂少量含む	良好	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
	土師器	5字型	縞、縞砂少量含む	良好	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
	土師器	5字型	縞、縞砂少量含む	良好	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
SH2	土師器	口縁 (2.5)	やや粗、縞状	やや不良	灰	口縁部外反し、胴部丸みを帯び、口縁コナナデ、胴部外面へうミガキ、内面ナデ。	小片
	土師器	口縁 (4.0)	やや粗、縞状	良好	灰	口縁部外反し、胴部丸みを帯び、口縁コナナデ、胴部外面へうミガキ、内面ナデ。	1/8残り
	土師器	底縁 (2.2)	やや粗、縞状	不良	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	底縁 1/2残り
	土師器	5字型	縞状含む	良好	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
	土師器	5字型	縞状含む	やや不良	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
	土師器	5字型	縞、縞砂少量含む	良好	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
	土師器	5字型	縞、縞砂少量含む	良好	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
	土師器	5字型	縞、縞砂少量含む	良好	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
	土師器	5字型	縞、縞砂少量含む	良好	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片
	土師器	5字型	縞、縞砂少量含む	良好	灰	口の口縁部、外面ハケ後へうミガキ、内面ナデ調。	小片

表にのせた。平均値は長径約16cm、短径約11cm、厚さ約7cm(四捨五入)である。遺物は円筒埴輪片が量的に多かった。突帯は台形で中心部分に凹みをもつものもある。突帯は全体に低い。実測図の中の1の二重口縁部分と7の高坪脚部はその楕円状の覆土内から石と共に出土したが、近くの遺構からの混入と考えている。トレンチ内の露出した部分の大きさは南北約5m、東西約3.5m、ローム高さ約20cmである。調査が終わり埋め戻しの際トレンチ外の北部分を掘削した結果、墳丘北側斜面の裾まで出すことができた。それによると南北の裾から裾まで約9mであった。また南と北のローム傾斜面をクリノメーターでの計測では46度である。土層より中心点は南に寄る。丘上の高さを計算すると、タンジェント46度で約4mの高さに復元される。

墳丘2：トレンチ南西の角にあり、墳丘は一部分しか見せていないので規模は分からない。墳丘1より大きいと思われる。覆土内

から墳丘や主体部等に使用されたものと考えられる石に混じり円筒型埴輪、器財埴輪、土師器が出土した。それらは完形のものではなく細かいものばかりである。その中でユキ型埴輪が図、写真のように接合できた。県内出土のユキ型埴輪の類似を比較してみると関東型と言われているものである。新旧では矢と背負いの紐部分は簡略化され、沈線で表現されているので新しい部類と言える。出土した石については表にあるように平均値は約19cm×約13cm×約8cmである。墳丘1より平均的に大きいものになっている。

中世：墳丘1を東西方向に横断する横列直を抽出した。覆土は浅間B群石の混土である。長さ約4m、幅15～18cm、深さ20cmの中に杭痕のビットが両サイド掘られている。墳丘自体が削平されているので実際の深さはもう少し深いと思われる。これと同じ形態の横列を綿貫町で検出している。

近世：墳丘1の横列直の上層内に東西と南北方向の丁字形に大塚が出土した。

以上の結果からは古墳の規模等は分からない。墳丘の出土した石についても墳丘の葺石が主体部の物なのか分からない。埴輪には片岩を含む物もあり、突帯も3種類あった。出土遺物の比較によって墳丘1の方が墳丘2より古いようである。埴輪の特徴からも墳丘2の時期は6世紀後半ぐらいであろう。4軒の住居はおおむね古墳時代前期と言える。本調査地は若宮古墳群にあり墳丘同士の密着に特徴がある。トレンチ北側の埋戻しの際に墳丘1に接して2箇所墳丘知きものがあり、まだ数個の墳丘の可能性はある。

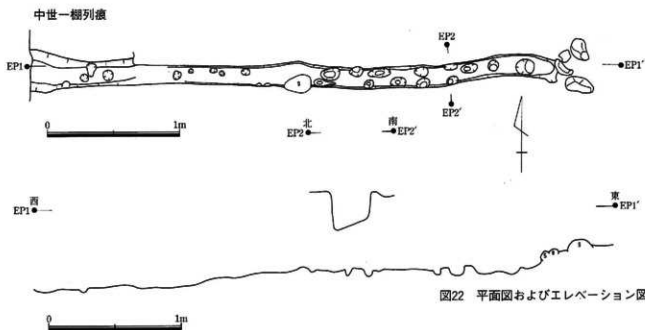


図22 平面図およびエレベーション図

近世一石列

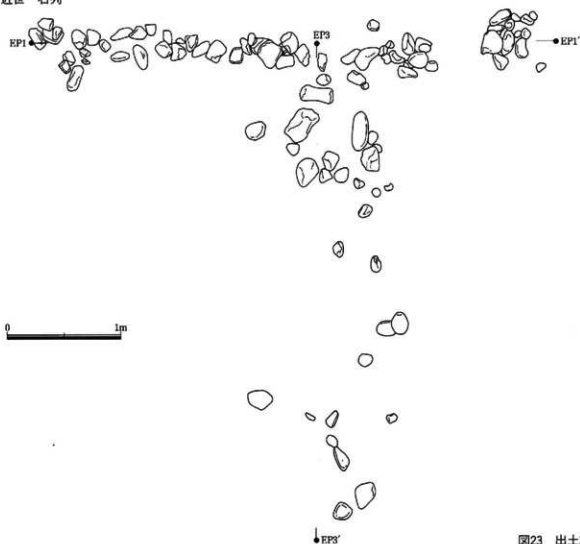


図23 出土状況図



写1 SH1 1号住居跡 南から



写2 SH3、SH1、SH2 住居跡 北から



写3 SH4 住居跡 北から



写4 墳丘1 東南から



写5 墳丘1 全景 南から



写6 墳丘1 全景 東から



写7 墳丘1 東壁 南西から



写8 墳丘1 初回トレンチ 南から



写9 墳丘2、溝 東から



写10 SH2 No.2 遺物出土状況



写11 SH2 土坑内 遺物出土状況



写12 遺物出土状況



写13 SD1内の掘出土状況



写14 トレンチ全景 北から



写15 櫛列痕 東から



写16 列石 東から



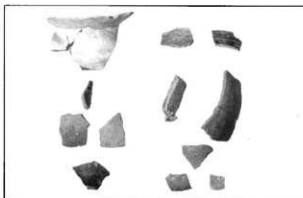
写17 調査地作業前全景



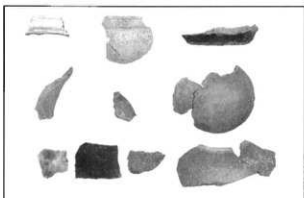
写18 調査地作業中 南東から



写19 調査地トレンチ全景 南西から



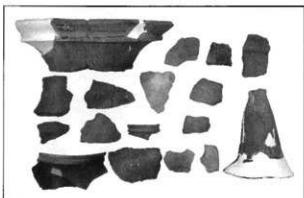
写20 SH 1 出土遺物



写21 SH 2 出土遺物



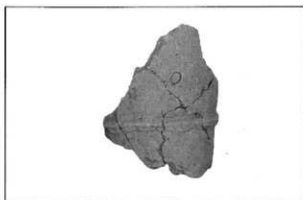
写22 SH 2 出土遺物 6



写23 墳丘 1 出土遺物



写24 墳丘 1 出土遺物 1



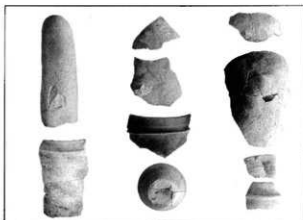
写25

その他覆土内遺物



写26

その他覆土内遺物



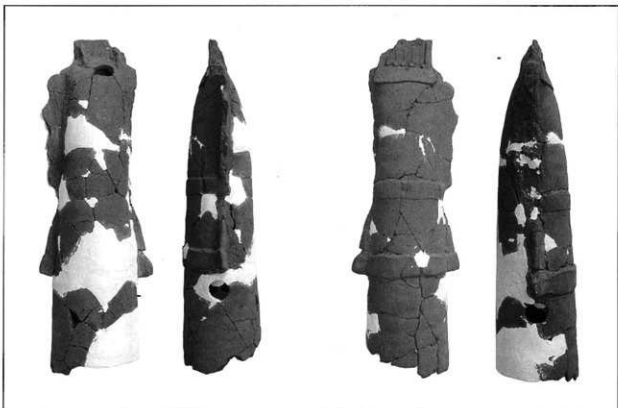
写27

佐野長者屋敷出土



写28

佐野長者屋敷出土羽釜



写29

初形埴輪

写30

2. 問屋町

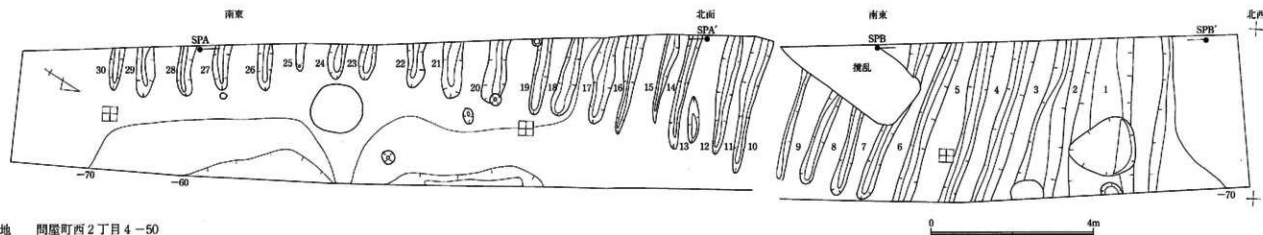


図24 F A 下うね状遺構平面図

- (1) 所在地 問屋町西2丁目4-50
- (2) 調査期間 平成13年4月10日～16日
- (3) 対象面積 826㎡
- (4) 開発内容 建売分譲住宅
- (5) 経過と結果

本調査地は市内北に走る17号線（高崎・前橋線）と地方道高崎・渋川線の交差点より東に150m、17号線の南側にあたる。標高100～101mに位置する。平成13年4月10日にトレンチ調査をおこなった結果、畝状遺構の検出と須恵器片が出土した。これにより遺構を建物建設から保存出来ないことが分かり発掘調査となった。

【結果】現表土から70～80cm下で砂混じりF A 洪水土層の下から畝と考えられる遺構を検出した。図の通り30個所検出された。図の機軸部分あたりから南に向かいF A 洪水土層と砂質の礫土が溝を覆い新旧の復旧がおこなわれたことが分かった。図の出土遺物は2層の混泥土層より出土したもので遺構に伴うものではないが参考としてのせておいた。

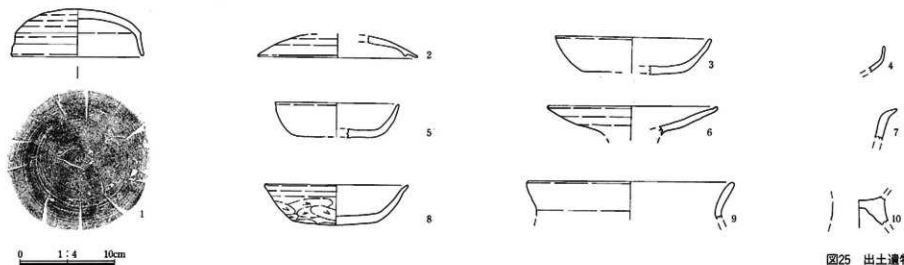


図25 出土遺物実測図

土層記述

1. 灰黄褐色 10YR 6/2 表土
- 2-1. 黒色土 2.5Y 2/1 A+B混じり 軽石中程度含む
- 2-2. 2-1表ひき出し 7.5YR 6/2混在 ビット内落ち込み土
- 3-1. 暗色土 7.5YR 6/8 砂質 緑色土 上層5cm位に特に多い
Hc-FA洪水砂
- 3-2. 暗色土 7.5YR 6/8 3-1に比べて砂質土が強い
Hc-FA洪水砂
4. におい黄褐色 10YR 7/4 明赤褐色ブロック含む
Hc-FA6層に比べて砂質土強い
5. 暗灰色土 7.5YR 5/1
粘質土多い 火山灰流入後
礫土 新しい耕作面が盛土
- 6-1. におい黄褐色 7.5YR 7/4
明赤褐色 ブロック含む
Hc-FAシルト質
火山灰流入後一次堆積
- 6-2. 7お上ひき出し 緑は人形
7. 暗灰色土 5YR 5/8
明赤褐色ブロック含む
微砂質 礫土面

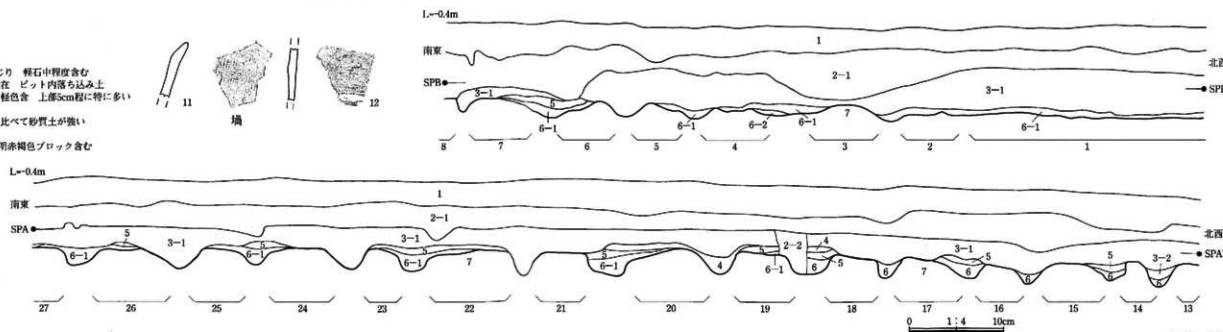


図26 土層図

4. 浜川長町

- (1) 所在地 浜川町長町386-3
- (2) 調査期間 平成14年4月9日
- (3) 対象面積 1034.0 m²
- (4) 開発内容 平屋建て店舗
- (5) 経過と結果

本調査地は海拔133～132mの範囲にある。表土より40cm下に16cmの厚さのBがあり上幅40、下幅93cmの畦2条、人の足跡、馬の足跡を検出した。

遺構の水田土質は泥炭質に近い。



写31

トレンチ全景 東から

10. 上中居荒神

- (1) 所在地 上中居町字荒神317-1
- (2) 調査期間 平成14年5月8日
- (3) 対象面積 663.48 m²
- (4) 開発内容 共同住宅新築
- (5) 経過と結果

現地表より約1m下に約8cm厚のB軽石層あり、B下畦、B水田検出。水田面に9～13cm大の窪み多し。下層は8cmの黒褐色粘質土層、次は泥流層。



写32

トレンチ全景 南から

11. 上中居字岡久保

- (1) 所在地 上中居字岡久保1436-2他
- (2) 調査期間 平成14年5月13日
- (3) 対象面積 2,060 m²
- (4) 開発内容 共同住宅及食堂
- (5) 経過と結果

現水田面より34cm下に3～8cm厚のB純層あり、人、動物の足跡あり。Bの上層は砂質。Bの黒色粘質土の下層にはC混じり黒色粘質土。



写33

北トレンチ全景 北から

33. 萩原八幡坤

- (1) 所在地 萩原町八幡坤408-1他
- (2) 調査期間 平成14年9月24日～26日
- (3) 対象面積 929 m²
- (4) 開発内容 道路建設
- (5) 経過と結果

北トレンチで現表上下60cmにF A洪水土層下の畦を検出。上幅30、下幅65cm。南トレンチの畦は低い。水田面は両トレンチ共洗い流された状態である。

水田面上下層は川砂やシルトの互層。



写34

大畦畔 北西から

34. 上中居字名室

- (1) 所在地 上中居町字名室1187-1
 (2) 調査期間 平成14年9月30日
 (3) 対象面積 1,190 m²
 (4) 開発内容 宅地分譲
 (5) 経過と結果

調査地の現状は水田である。稲の刈り取りも終わった後、雨が降り、当日も雨で土壌はゆるい状態であった。共有道路予定地に南北方位にトレンチを入れた。B混じり土層は表面から30cmまで、現表土面より56～63cm下が遺構確認面である。トレンチ北側で平行に並ぶ上幅17～19cm、下幅8～14cmのピットを検出。ピット群の南に東西に向う自然溝を掘った。その溝の南には東西に長い90×68cmの大きさで、ほぼ垂直の土坑を検出。土坑の底から出土したのが図27の10の土師器である。外面小刻みのヘラケズリ、口縁は外側にわずかに反れて、内面黒色処理した甕。土坑は浅間Bが混ざらない土層が覆土である。以上の土層、出土土器から古墳時代の遺構と考える。図27の出土遺物実測図と写真37は全部土師器で同じ土層内から出土している。1は小型甕。2は九底で底部から外側に反る口縁をもつ甕。3はS字口縁付き臺の台部。

4は直線的に外側に開く口縁部分だけの甕。5、6、7、8は外側に反る口縁の甕。いずれの甕の胎土は密である。色調は橙色。甕の特徴から古墳時代後期である。9は小型甕。

トレンチ南側で表土層から2層目、浅間B軽石が混じる断面台形の溝（写真36は1箇所）2箇所を確認。北側の溝は上幅130cm下幅67cm、深さ40cm。南側溝はそれぞれ66,50,37cmで古道と考えている。



写真35 トレンチ全景 北から



写真36 古道の側溝 東から

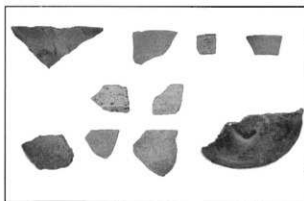


写真37 トレンチ内出土遺物

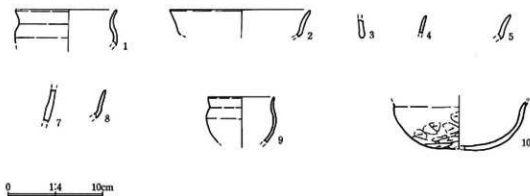


図27 出土遺物実測図

43. 双葉町

- (1) 所在地 双葉町70-1 他
 (2) 調査期間 平成14年10月23日
 (3) 対象面積 約1,100 m²
 (4) 開発内容 宅地分譲
 (5) 経過と結果

試掘後ただちに建物を建てる予定である。トレンチ西側土層に、現表土から71cm下に2~6cm厚のAがあり、A層から23cm下に8cm厚のBの純層があって黒色粘質土層があり、トレンチ中程と東端に畦畔を検出した。東端の畦は水路をもつ約3m幅の大畦である。畦、水田面共洗われている。



写真38

大畦 南から

47. 下佐野長者屋敷

- (1) 所在地 下佐野町字長者屋敷979-1
 (2) 調査期間 平成14年11月11日
 (3) 対象面積 1,339 m²
 (4) 開発内容 共同住宅建設
 (5) 経過と結果

建物基礎になる位置におよそ東西方向のトレンチをいれる。前方は烏川が南東に流れ、川に平行して上越新幹線が走っている。新幹線下は下佐野遺跡として調査された。トレンチの覆土は混土層で55~56cmまで掘り下げる。表土から約30cmまでA軽石混じる粗粒土層でそれより下層は砂質シルトになり、3層に分層できる。混土層には縄文、土師器片、須恵器片が出土した。トレンチ西側に1の石柱中心にした範囲に図の如くの遺物が出土した。2、3、5、6、7、10は羽釜部分で、4は瓦質の甕の底部。9は土師でロクロ回転糸切り坏、8の底部はよく分からない坏。混土層厚く遺構確認までできなかった。



図28 位置図

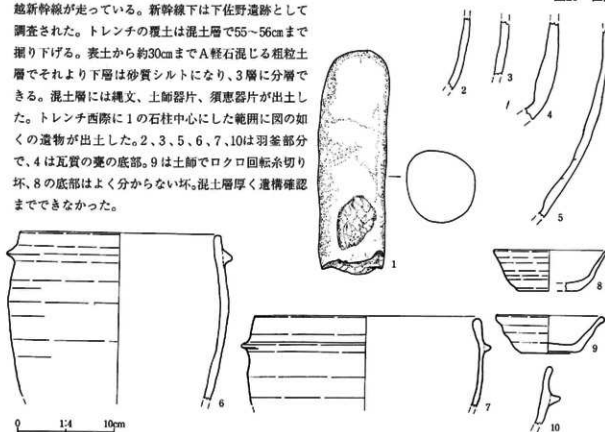


図29 出土遺物実測図

57. 山名田中地

- (1) 所在地 山名町字田中地503-1他
- (2) 調査期間 平成14年12月24日
- (3) 対象面積 1,546 m²
- (4) 開発内容 デイサービスセンター建設
- (5) 経過と結果

本試掘調査地は古代から中世まで歴史資料によく名の上がる地域である。市内にある病院の付属施設として建物建設の話があり協議し、急遽試掘調査となった。

付近の遺跡では6世紀後半と7世紀の古墳がある山名原口Ⅱ遺跡、奈良・平安時代の集落とその遺物が出土した山名原口Ⅰ遺跡のある山名古墳群は本調査地からおおよそ西へ直線距離で0.4kmにあり、今年も一部古墳調査をおこなった。また東北方位に直線で約0.4kmには山名戸矢遺跡がある。山名戸矢遺跡では堅穴住居106軒が検出された。遺構には縄文、古墳時代があり、奈良・平安時代の住居は68軒が調査された。さらに東北方位約1.3kmに田端遺跡がある。古墳時代の住居は約70軒調査された。

【結果】調査地の標高は82.7～81.6mの間にあって東南になだらかに傾斜している地形である。

南に約200mの所に鍋川が東に流れている。トレンチの結果、現表土から63～71cmの深さの位置で円筒式の埴輪片、土師器片が出土した。また同じトレンチの深さで紫石遺構（写40）が見つかった。トレンチの土層は表土層以下27～31cmの埋土で、埋土以下の下層は土石流と氾濫による土砂が混じっている。さらに下層は礫の入った砂混じり土層である。現在の畑とするために盛土されている。集石の範囲は2.8mの大きさで、ロームを少し掘っておさまっている。集石の間に円筒式埴輪も出土した。遺構は出土遺物、土層から古墳時代と考えられる。集石の平均の大きさは約38×24cmである。



図30 位置図



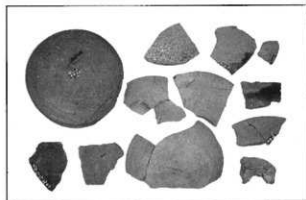
写39

トレンチ 北から



写40

集石 南から



写41

間屋町出土遺物



写42

間屋町出土遺物 1

抄 録

フリガナ	たかさきしないいせきまいぞうぶんかざいきんきゅうはつくつちようさほうこくしよ
書 名	高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告書17
副 書 名	
巻 次	第17巻
シリーズ名	高崎市文化財調査報告書
シリーズ番号	第185集
編 著 者 名	神戸 肇
編 集 機 関	高崎市教育委員会
所 在 地	〒370-8501 群馬県高崎市高松町35-1
発行年月日	2003年3月31日

高崎市文化財調査報告書第185集
高崎市内遺跡埋蔵文化財
緊急発掘調査報告書17

平成15年3月31日 印刷
平成15年3月31日 発行

編集 高崎市教育委員会

文化財保護課埋蔵文化財係

発行 高崎市教育委員会

印刷 杉浦印刷株式会社